様式-2

受付番号： 22-911

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

前立腺癌に対する密封小線源単独治療後における下部尿路症状の長期成績

研究計画

(1)背景・意義

限局性前立腺癌は、早期に手術や放射線療法を行うことで長期生存の得られる疾患であるため、術後のQOLを考慮した上で治療選択をすべき疾患である。我々は前立腺癌に対する根治療法として、手術療法、密封小線源挿入療法、放射線外照射療法を行っているが、その中で密封小線源挿入療法における下部尿路症状と術後のQOLに経時的変化について、長期にわたり調査した。

(2)目的

当院で施行した限局性前立腺癌に対する密封小線源単独治療後の下部尿路症状と術後のQOLの経時的変化について検討した。

(3)方法 (①割付の有無 ②通常の診療範囲を超える医療行為の内容(侵襲性や試料採取等)について記載すること)

2008年8月から2018年8月までに当院で限局性前立腺癌に対し密封小線源永久挿入療法を施行し、かつ3年以上経過観察が可能であった186例を対象とした。治療開始前をbase lineとし、治療後10年までの毎年毎のIPSS、QOLスコア、OABSSの変化を後ろ向きに検討した。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。
なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

田中 亮
東京警察病院 泌尿器科 03-5343-5611